



すわ

Guide to Suwa City Council
FEBRUARY 2026

市議会だより

令和8年2月1日

No.103



▲「咲き終わりのバラ」諏訪西中学校の生徒さんの作品です(3Pで紹介)

目次

年頭のご挨拶	2	代表質問	6
議員と語っちゃオ!!を開催しました	2	一般質問	8
表紙のご紹介・モニター通信	3	審議結果・議員研修会を開催しました	13
総務産業委員会報告	4	常任委員会行政視察の報告	14
社会文教委員会報告	5	パブリックコメントを実施します	16

令和八年 年頭のご挨拶



議長

牛山 正

副議長

横山 真

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃より市議会の運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

諏訪市を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、議会は市民の声を真摯に受け止め、未来に向けて持続可能で安心できるまちづくりを進めてまいります。

本年も議会は市民と力を合わせ、諏訪市の発展に尽力してまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

令和7年度 議員と語っちゃオ!! を開催しました!

議会TOPICS ①

11月8日(土)、市政に届けるべき市民の皆さまの声をお聴きするため「子育て安心、暮らしやすい街へ」「観光と地域の元気づくり」「地域の声を形に」の3つをテーマに、20代から80代までの幅広い世代の皆さまと、テーマごと意見交換をさせていただきました。

諏訪市議会として、皆さまからいただいた貴重な意見を共有し、活動の参考にさせていただくとともに、現在お聴きした声を基にPDCAサイクルを回していこうとしています。

今後もこのような意見交換の場を設けていきたいと考えておりますので、引き続きご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



●当日の詳しい様子はこちらから→



表紙のご紹介

★今回は、諏訪西中学校の生徒の皆さんによる作品をご紹介します★

これまで本紙では、中学校・高校の美術部による作品を中心に掲載してまいりましたが、今回は「美術部作品」ではなく、「美術の授業の中で制作された作品」を取り上げました。生徒の皆さんは授業を通して、風景画と立体造形の制作に取り組んでいました。風景画は、学校敷地内で心をひかれた光景を題材とし、自分の感じた思いや表現したいイメージを大切にしながら、アクリル絵の具や水彩絵の具を用いて、着彩の技法を工夫して描かれています。また、立体造形は「自分」をテーマに構想を練り、木材や紙、針金などのさまざまな素材を組み合わせ、表面を磨き上げて完成させた作品です。制作には、約12時間をかけたとのことで、一つひとつに丁寧に向き合いながら仕上げられた力作がそろっていました。



「成長」

いのうえ あおい
井上 葵さん



「将来への道り」

かさはら りょうた
笠原 凌太さん



「自分でつかむ」

ひらばやし ももか
平林 桃花さん



【表紙作品】

「咲き終わりのバラ」への想い
学校の中庭を歩いていると、もうすぐ咲き終わりそうな、赤いバラの花が目に残りました。私はその光景に心をひかれ、描くことにしました。注目して欲しいところは、バラの花と右手前のバラの茎です。細かいところまで丁寧に描き込みました。咲き終わりそうなバラの花が、秋の中庭で、少しさびしそうに咲いている様子が伝わると嬉しいです。

のぐち なつは
野口 菜津羽さん

【生徒の声】自分の成長を「木」に重ねて表現しました。

美術が得意で好きなので、将来の仕事にもつながれば良いと思っています。絵を描くことが好きで、美しいと感じたイメージを作品にしました。

「百葉箱」

まつざわ れんと
松澤 蓮人さん



「水玉模様の花」

こいずみ わか
小泉 和花さん



議会だより
第102号の
アンケート
結果

モニター



写真やイラストの
入れ方がとてもいいと思いました。
文字ばかりの内容よりも関心
が持ちやすいように思います。

中学生の描いたフレッシュな絵で
柔らかくて身近に手に取りやすい気がします。
手に取るハードルが下がる感じです。
保護者の方にも興味を持ってみて
もらえたらいいなと感じました。

●議会だよりモニター通信●

ありがとうございます。
これからも工夫してまいります。
読者が増えるとうれしいです。



議員

議案第54号 令和7年度諏訪市一般会計補正予算(第4号)

議案の内容

主な内容は下の表のとおり。

採決の結果

全会一致可決。

議案第57号 諏訪市公告式条例の一部改正について

議案の内容

条例の公布方法を見直し、市ホームページでの公布を可能とするともに、掲示期間について新たに規定を設けるもの。

主な質疑

問 掲示場が廃止される4条例館では、どのような配慮をするのか。

答 タブレット端末が設置され、誰でも見ることができるようになる。不慣れな方は、職員と一緒に操作をするので、声をかけてほしい。

採決の結果

全会一致可決。

議案第58号 諏訪市組織条例の一部改正について

議案の内容

こども未来部を新設し、子ども施策を総合的・一元的に推進するほか、建設水道部を設置し、道路・上下

可決

水道・温泉など生活基盤の整備・管理を効率化するもの。

主な質疑

問 新設される「こども未来部」と現在ある「すわ☆あゆみステーション」との関係は。

答 基本的な構成は現状のとおりで教育委員会事務局と、こども未来部との連携を継続する。

採決の結果

全会一致可決。

議案第59号 諏訪市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について

議案の内容

国のデジタル手続法の改正に伴い、申請等のデジタル活用を推進するもの。

主な質疑

問 条例の改正に伴い、すべてがデジタル化されるのか。

答 デジタルが併用できるようにする。

採決の結果

全会一致可決。

議案第71号 令和7年度諏訪市一般会計補正予算(第5号)

議案の内容

主な内容は下の表のとおり。

可決

主な質疑

問 文出第一工区の補助金計上は、新規ではなく漏れていたものか。①

答 様々な理由で漏れており、追加をした。

採決の結果

全会一致可決。

陳情の内容

陳情第32号 消費税減税とインボイス制度が廃止されるまで「2割特例」と「8割控除」の継続を求める陳情

不採択

中小事業者の負担増を避けるため、消費税減税とインボイス制度が廃止されるまで「2割特例」「8割控除」の継続を求めるもの。

討論

不採択 インボイス制度は税の公平性を確保するものであり、激変緩和措置はその導入に向けた一時的な準備期間として設けられたもの。制度の本質を踏まえれば、措置の延長は適切でないため、不採択。

採決の結果

「不採択にすべき」とのことについて、賛成多数により不採択。

■12月定例会 補正予算(議案第54号・第71号 ※総務産業委員会付託分)

議案	項目	補正額	主な内容
第54号	人事院勧告等に基づく給与改定及び人事異動による給与費	1億 548万4千円	
第71号	総務費	1,352万6千円	循環バス運行事業費 552万6千円 市税還付金 800万円
	農林水産業費	81万3千円	諏訪平土地改良区農地基盤整備事業費① 81万3千円
	公債費	388万7千円	市債の利率見直し等に伴う元金と利子の増減分 388万7千円

※補正額と主な内容の合計金額は一致しない場合があります。

議案第55号 諏訪市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を定めるについて

可決

議案の内容

いわゆる子ども誰でも通園制度を実施するに当たり、必要な設備及び運営に関する認可の基準を定めるもの。

主な質疑

問 どの園で行うのか。

答 現在、一時保育事業を行っている片羽保育園、豊田保育園のどちらかの園で実施したいと考えている。

問 保育士は増やさなくてもいいのか。

答 保育士を新たに増やすことは考えていない。

討論

反対 理念は素晴らしいが、本来の保育の役割を果たすという意味では違うと考え反対。

賛成 条例を整備しないと事業に取り掛かれないため通すべきであり賛成。

採決の結果

賛成多数で可決。

議案第71号 令和7年度諏訪市一般会計補正予算(第5号)

可決

議案の内容

主な内容は下の表のとおり。

主な質疑

問 備品購入費では何を購入するのか。①

答 古いキャビネットの入れ替えや、まいさぼ諏訪市の部屋にも大型のキャビネットを設置する。

問 認知症予防教室に参加する方の中で、どのくらいの方々がタブレット端末を使用できるようになるのか。②

答 来年度は購入した2台で運用していく。現在は1台での運用であるが、2台となることで現在の倍は利用できるため、有効性を周知したい。

採決の結果

全会一致可決。

陳情第31号 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

趣旨採択

陳情の内容

2026年度の診療報酬改定と合わせ、1年前倒しで介護・障害

福祉サービス等報酬改定を実施すること。当面の支援策として2025年度中に全額公費による賃上げ支援策を実行すること。

主な質疑

問 財源をどう確保していくのか。

答 医療や介護の現実を陳情書で理解され、今後も議論いただきたい。

問 診療報酬の中身は細かいが、それぞれの項目で10%以上引き上げてほしいということか。

答 トータルとして一番大きい数字である10%を示している。

討論

趣旨採択 国の厳しい財政状況、将来的な社会保障費の増大を踏まえれば、本陳情の趣旨には賛同しつつも、財源の問題についてはもっと検討すべきであるため、趣旨採択。

採択 医療・介護・障害福祉の現場では、慢性的な人材不足や経営の厳しさが続いている。現場から上がってきた声を届けるべきだという考えから賛成。

採決の結果

「趣旨採択にすべき」とのことに ついて、可否同数となり、委員長 裁決により趣旨採択。

■12月定例会 補正予算(議案第71号 ※社会文教委員会付託分)

項 目	補正額	主な内容	
民生費	1億8,021万7千円	庁舎2階健康福祉部フロアのレイアウトを変更するために必要な事業費①	315万円
		国民健康保険会計拠出金	2,936万4千円
		寄附金を活用した介護予防教室用タブレットの購入費②	11万8千円
		訓練等サービスの利用者等の増加に伴う就労継続支援給付金等	8,000万円
		生活介助等サービスの利用者等の増加に伴う生活介護給付費等	3,000万円
		私立保育所要保育児童保育委託等事業費	7,200万円
衛生費	31万9千円	寄附金を活用した健康教室等で利用するワイヤレスアンプの購入費	31万9千円

※補正額と主な内容の合計金額は一致しない場合があります。

新政すわ



吉澤 美樹郎



YouTube

公共施設・公共交通

問 諏訪市公共施設等総合管理計画に基づいた公共施設の現状は

答 廃止・統合・維持の方針を施設ごとに定め、令和8年度末までに延床面積を約15%削減の予定。コンパクトシティを目指している

問 公共施設使用料の算出に関する基本方針の策定を検討することだが、検討に至った経緯や基本的な考え方は。

答 施設使用料は建設時に設定され消費税関連の見直しがされたのみであった。基本方針(案)では、受益者負担の原則に基づき使用料の見直しを行うこととしている。施設に係る維持管理経費と受益者の負担割合に基づく統一的な基準を設け

ることで、透明性と公平性を確保していく。

問 今後の進め方の中で、留意すべき点等は。

答 人口減少下で公共施設の在り方を精査し、負担の公平性を図った上で必要施設の維持費を確保していく方針。市民の皆さんのご理解をいただくながら、丁寧に進めていく。

問 10月より本格運行が始まったチョイソコかりんちゃんについて、市民より土日の運行や平日の増車についての要望が多いが、対応する考えは。

答 来年4月から一年間、土日のテスト運行を行うことを、地域公共交通活性化協議会に諮り実施していく予定。

諏訪の資源活用

問 シティプロモーションツールとしてペットボトル入り「諏訪の水」を販売しては

答 市政施行80周年を記念して作成したが、採算性等にも課題が多

要望

在庫を災害備蓄用飲料水等

に活用することもできる。ぜひ取り組んでほしい。

問 諏訪の資源「温泉」はクリーンな熱源で、サステイナブルな資源。温泉熱利用のアイデア募集等をコンテスト形式で行なってみてはどうか。子どもたちにも興味を持ってもらえるのでは。

答 市民や子どもたちが温泉資源に関心を持つきっかけづくりとして意義があるものと考えられるため、研究してみたい。

まちづくり

問 スマートーCの開通により変わる人の流れ、さざなみロード一帯の景観をどうコントロールするの

答 屋外広告物禁止地域に指定するなど、景観の保全と形成に努める

問 上諏訪駅周辺のミライを考えるワークショップが行われたが、今後策定される駅周辺地区整備基本構想と駅周辺まちなか未来ビジョン等をどうリンクさせていくのか。

答 ワークショップにおいて駅西口に改札を設ける方向を伝えた。この



どうする湖畔の景観

ことは今後のまちづくりにとって重要な契機になると認識している。未来ビジョンとの関連性において、駅西口広場の整備は重点的に実施するプロジェクトとして位置づけている。様々な計画や人々と連携する中で、地域をつなぐまちの結節点である上諏訪駅周辺エリア全体の魅力と利便性を高めていきたいと考えている。

問 ウォーカブルなまちづくりのために、一方通行を導入し歩道の確保をしてはどうか。

答 過去に2度、通行制限を伴った社会実験を行なった。今年度も2月7日に末広で、一時的に一方通行の規制をかけた実験を行う予定。こうした結果を踏まえ、車中心の道路から、歩車共存の可能性を確認していきたい。

代表質問

◆各グループ(会派)が、政策上の問題などについて質問するものです。

日本共産党諏訪市議団



大津 学



YouTube

給食費無償化

問 どうなりそうか

答 まだ確定していない

問 国で来年の4月から小学校の給食について無償にする予算が4月に成立したが、どうなりそうか。中学校の給食はどうなるか。

答 国は小学校の給食費の無償化について検討を進めているが、制度設計はまだ確定していない。また、中学校についても開始時期は未定。当市における具体的な影響についても不透明な現状にあることから、国の方針決定に注視をしている。

医療費

問 子ども医療費無料化は

答 国や県の動向を注視

問 国民健康保険の資格確認書はいつまで更新されるのか。また後期高齢者医療制度の資格確認書は。

答 国民健康保険の資格確認書の更新期間については、国の示す方針を注視する。後期高齢者医療制度の資格確認書は、国及び後期高齢者医療広域連合の方針に従う。

問 子どもの医療費は窓口完全無料化する自治体が拡大しており、長野県では10月1日現在50市町村で0円となった。300円と減額している市町村も10になり、諏訪市のように500円としているのは17市町村に減っている。子ども医療費窓口完全無料化について現在の考えは。

答 子ども医療費は、県内19市のうち9市が窓口無料化を実施している。本市の500円負担は、制度運営に要する費用の一部について受給者の負担とすることが適当であるという観点からお願いしている。仮に無料とした場合、本市では年間約4千万円の新たな財政負担が生じる。子ども医療費については、全国一律の国の保障制度を創設するよう、全国知事会及び全国市長会から国に対して要望されており、国や県の動向を注視していく。

子ども医療費自己負担金(長野県)



諏訪市は遅れている！

結



小泉 正幸



YouTube

ライフドアすわ

問 複雑化する福祉行政について

答 関係機関・多職種との連携が必要

問 具体的な対応状況は。

答 ライフドアすわは、諏訪市の将来像として掲げる「誰もが元気に安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指して、支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の深化、推進を目的に設置されたもの。在宅医療・介護連携推進事業や認知症総合支援事業などの4つの事業を、諏訪市医師会、諏訪赤十字病院、社会福祉協議会、地域包括支援センター等が連携しながら、「切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築」に向けた重要な役割を担う。介護支援専門員や薬剤師、理学療法士、看護師等の介護に係る多職種の連携による「地域包括ケア推進会議」を開

催し、高齢者支援に対する課題の共有と課題解決に向けた地域資源の開発や政策形成につなげている。



お気軽にお訪ねください

地域福祉を取り巻く環境

問 現状と問題点は

答 「自助」を支える「互助」の再構築が重要

問 地域福祉における、現状と問題点は。

答 近年、暮らしを取り巻く環境が変化し、人と人、人と地域などの関係性の希薄化が課題となっている。従来は身近にあったはずの「助け合い」や「支え合い」といった機能が停滞するなか、孤立や生きづらさなどをやわらげ、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を推進するには、「自助」を支える「互助」の再構築が重要。

生成AIの活用



伊藤 浩平



YouTube

問 今後の生成AIの活用は

答 有償生成A-を試験導入していく

問 全国的に各自治体では積極的に生成Ａを様々な分野で活用している。業務効率化や住民サービス向上を見据え、生成Ａを今後どのように活用していくのか。

答 内部規定を見直し、有償生成ＡＩサービスの本格導入を準備している。チャットツール「ＬＯＧＯチャット」から利用できる「ＬＯＧＯＡーアシスタント」のトライアルを開始する予定である。３ヶ月ほどのトライアル結果を踏まえ、有償アカウント移行や他サービス導入も検討していく。生成ＡＩは業務効率化には不可欠と認識し、学習機会の提供や利用状況の検証を進め、市民サービス向上と働き方改革を目指す。

公民館・屯所建設補助金



生成AIで作成した、自治体での生成AI活用のイメージイラスト

問 増額検討は

答 慎重な検討が必要

問 公民館建設、消防団屯所建設などの補助金は地域にとって重要性の高いものである。物価高騰や建築費上昇など大きく動いている今こそ増額方向で検討するべきでは。

答 公民館は地域の重要拠点であり補助金見直しの必要性は認識しているが、財政運営や公平性の観点から慎重な検討が必要である。屯所補助金も、上諏訪地区の再編を協議しており、ほかの地域分団の部再編にも対応できるよう関係部局等と相談し検討を進めている。

防災避難所訓練



藤森 靖明



YouTube

問 開設と運営体制の考えは

答 地域との役割分担の明確化、協力体制の構築を進める

問 今年開催された当市の防災訓練を踏まえた今後の考えは。

答 訓練を積み重ねることで各地域の市民の皆様と避難所開設・運営手法の共有化を図り、地域との役割分担の明確化や協力体制の構築を進める。

問 個別避難計画の進捗と地域支援体制は。

答 当市の令和7年4月1日現在の状況として、「個別避難計画」の策定人数は915人、「避難行動要支援者名簿」の策定人数は1428人となっている。

地域全体の支援体制の取組として、区や民生児童委員が主体となつて作成する「災害時住民支え合いマップ」がある。令和7年度に新たに2区(沖田町・普門寺)が策定してお

観光・地域経済の構築

り策定率は92.2%となっている。

今後市・区・社協・民生児童委員等が一体となり、災害に備える地域ぐるみの体制づくりを推進していく。

問 アニメ「逃げ上手の若君」とのコラボの状況は

答 コラボイベント『よいさ！逃げ上手の若君 諏訪めぐり』を開催

問 広報・デジタル施策を通じ期待される成果や効果は。

答 デジタル技術とコンテンツを活用したデジタルスタンプラリーを開催することにより、様々なニーズ等が新たに分かってくる。取組を継続的に実施することによりノウハウを蓄積し、令和10年御柱祭の観光誘客に結び付けていく。



逃げ上手の若君とのコラボイベント内容

一般質問

◆市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。



井上 登



YouTube

子育て支援

問 キヨロブラ運動(登下校の見守り)の今後は

答 活動を工夫、検討していく

問 防災無線の活用やわんわんパトロール(犬の散歩をしながらの見守り)の検討は。

答 区の放送の活用をお願いしている。わんわんパトロールに関しては検討を進めていく。

問 諏訪市の子どもショートステイの現状と今後は。

答 直近の施設利用は令和2年度。預かり先が不足気味のため諏訪6市町村で担い手育成に取り組んでいく。

地域の安全安心

問 道路白線修復を早急に

答 安全、円滑な通行のため対処する

問 道路交通法施行令の改正によって中央線のない道路の法定速度が時速30kmとなるがどのように周知するか。

答 諏訪警察署と連携し、市のホームページ、LINE、広報すわ等で周知する。

問 合葬式墓地の管理はできているか。

答 適切な維持管理をしているが、特に落ち葉により詰まりやすい水場の点検、清掃に努めている。

問 看板がわかりづらい。目立つようにすることへの考えは。

答 県の基準など制約がある中で、の設置となっているが、わかりやすくするため工夫をしていく。

問 諏訪市の熊対策と補助金は。

答 放任果樹等の誘因物の除去や耕作放棄地の適正管理の啓発、補助制度を活用した侵入防止柵の設置を行う。



市民から提供された熊の写真
(諏訪市ホームページより)



岩波 万佐巳



YouTube

高島城ライトアップ

問 ライトの常設は

答 研究したい

問 様々な啓発事業で高島城のライトアップが行われているが、ライトの常設について市長はどのように考えるか。

答 活用方法や費用対効果などの面から研究をしてまいりたい。

問 高島城管理の観光課の考えは。

答 高島城をアピールする有効な手段のひとつと捉える。観光回遊性が生まれ、地域の活性化につながることも期待できると思われる。

問 公園管理の都市計画課として、ライトアップは可能か。

答 公園の桜の時期には毎年仮設でライトアップをしている。費用



11月12日パープルライトアップされた高島城

対効果を鑑み、今後公園内の常設ライトも含めLED照明施設の常設化を検討する中で、啓発活動等のライトアップの状況を確認し検討していく。

問 お堀側からのライトの常設化は可能か。

答 鉄平石の歩道に沿って以前フットライトがあったが現在活用していない。電気設備の更新時に活用可能か確認し、そのうえで観光課と検討する。

要望 令和9年春からのNHK連続テレビ小説で諏訪地域が舞台になると新聞報道があった。市長も歓迎のコメントを寄せていた。朝ドラと大河ドラマは人を呼び寄せることができる。諏訪をPRする手段のひとつとして、高島城のライトアップのためのライトの常設を是非お願いしたい。

行事



藤森 綾子



YouTube

問 来年5月二十

歳のつどいの会場は

答 候補4力所から検討



問 公募により集まった二十歳のつどい「実行委員メンバーは何人いるのか。またどのような役割か。

答 実行委員は現在6名。主体的に企画・運営に参画しており、教育委員会が調整役を担っている。また二十歳のつどい「当日には、司会や受付などの役割も担うことになっている。

クラウドファンディング

問 文化センター大規模改修にかかるクラウド

ファンディングの状況は

答 第一弾の結果を踏まえ

第二弾・三弾と取り組んでいく

問 第一弾の現状と、今後の課題は。

答 11月末日の寄付金額は目標金額1千万に対して15件、38万9千円。今後はふるさと納税以外のクラウドファンディングの活用や返礼品の設定など研究を重ね、検討を深めていく。

多世代交流

問 幅広い層が交流できるような場の構築の考

えは

答 既存の施設を活用し多世代の交流を生み出すことは大切

問 子育て世代の交流のための遊具の選定基準は。

答 「遊具選定に関わる実施要領」に基づき、利用者アンケートを実施。遊具メーカーに意見・提案をいただき、設計に取り入れ選定。

問 すわっチャオ（キッズコーナー）に遊具が少ないのでは。

答 利用者からの声をいただければ購入を検討し充実に努めていく。

公営住宅



高木 智子



YouTube

問 公営住宅の役割とは

答 住宅セーフティネットの中心的役割を担う

問 当市の令和12年度公営住宅の目標管理戸数と現状の差は110戸あるが、将来的にはさらにこの戸数の確保が必要か。

答 令和12年度の目標管理戸数は663戸となっており、現状との不足分110戸の確保は今後必要である。

問 事業実施にあたり技術職のマンパワー不足が課題だがその現状は

答 管理職以外の建築技術職員は現在2名で、募集しても採用ができない状況

問 この課題にどう対応していくのか。

答 新たに大型ハード事業を実施すると通常業務を処理しつつ大型事業を手掛けるため、著しく困難な状況となる。新たにデジタル化や近隣自治体との共同実施などのほか、外部活力やノウハウを活かした整備手法などを研究する必要がある。職員が対応すべき業務、外部に委託したほうが合理的・効率的な業務を整理、判断して実施していきたい。

要望 今回建設部と水道局の統合

の一つの理由にもあるように当市の技術職のマンパワー不足は非常に深刻である現在計画されている県営桜ヶ丘団地跡地の市営住宅建設は、民間が建設しそれを買収する「買い取り方式」を採用するとマンパワー不足対策としては非常に効果的と考えられるぜひ検討を。

諏訪市公営住宅等長寿命化計画

(改定版)



平成30年3月

(令和7年3月中間見直し)

諏訪市 建設部 都市計画課

公営住宅は住まいのセーフティネットです

一般質問

◆市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。



牛山 実弦



YouTube

教育・保育

問 創造性を育む新しい画材の活用と教育的効果は

答 表現力等を養うことが期待できる

問 学校の美術教育や探究型学習における活用と教育的効果は。

答 ライスワックスを使ったクレヨンの活用による教育的効果については、水で簡単に消して描き直せることから、失敗を恐れずに表現する体験を通して自己肯定感を向上させることが期待できる。また、オリジナルのアイデアを画用紙ではない様々な素材に自由に、そして対話しながら描くことで、非認知能力を育むことが期待できる。

問 保育園や幼児教育での活用は。

答 イベント・行事などの保育活動の中で試行的に取り組んでみることは可能と考えるので、保育現場の意見を聴いた上で検討していきたい。



水で消えるクレヨンで描いたサンタさん

道路交通

問 自転車の交通反則通告制度(青切符)の導入について

答 令和8年4月1日に施行

問 制度の内容と諏訪市の考えは。

答 制度の導入により、16歳以上の者が行った自転車の反則行為に対し、反則告知、いわゆる青切符による処理が行われるようになるものである。

自転車は、運転に際しては交通ルールに則った運転をしなければならぬ。交通ルールを守ることが自分と相手を守る。広く市民に広報し、交通秩序の改善を通じて、自転車による交通事故防止を図りたいと考えている。



小山 博子



YouTube

带状疱疹ワクチン

問 自己負担の軽減は

答 6市町村内での整合性にも配慮しながら、本市における接種率の推移や国の動向を注視していく

問 製薬会社の情報だと、各自治体からの助成金があり、自己負担額が少ない自治体ほど接種率が高くなっているという。接種したいが、接種費が高額なので迷う人も多い。自己負担額の軽減はできないか。

答 諏訪圏6市町村では、国の方針と予防接種の自己負担額や財政負担の調整、他の予防接種とのバランスなど、様々な観点から難しい協議を短期間で行ってきた。国からの地方交付税措置は、A類疾病で約9割、B類疾病では約3割にとどまっており、これも課題の一つである。今後は、必要な人が必要な時に接種できる体制の整備と、自己負担軽減に向けた6市町村間の整合性に配慮し、本市における接種率の推移や

国の動向に注視していく。

ラーケーション

問 ラーケーションの制度の導入はいかがが

答 制度の詳細が整ったところで試行実施をする

問 ラーケーションとは、「ラーニング(学び)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた造語で、子どもが保護者と一緒に学校外で体験的な学びを行うために取得する休暇のこと。全国知事会からの提言にもあり、子どもと家族が平日に共に過ごす環境づくりを目指し、活動休暇を認める制度を導入している自治体もある。当市でも導入を検討してはどうか。

答 実施を前提として校長会へ提案。児童生徒や保護者から意見を伺いながら本格実施へと進めていく方向。



彦根市のリーフレットの表紙

一般質問

◆市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。

※各議員のQRコードから一般質問の動画にリンクできます。



森山 博美



YouTube

第77回諏訪湖祭花火大会

問 大会余剰金は

答 観光関係基金へ積み立て

問 余剰金を一般会計に繰入れることを協賛者に確認したのか。

答 協賛金は「花火打上費」に全て活用し、余剰金には含まれない。余剰金は、観覧席・有料臨時駐車場・経費節減の経営努力の結果であり、一般会計に繰入れ「観光関係基金」として観光振興事業全般に活用する。

問 湖上警備の内容と費用は。

答 14日9時～17時2艇4名、15日9時～22時4艇5名、45万3200円でセーリング協会へ業務委託。

問 雑踏警備にあたる消防団と警備会社の待遇や費用は。

答 警備会社2社に業務委託。364名、警備費は2333万1525円。消防団員150名が16時～22時の間警備をしたが、警備補助金合計52万円を交付。

要望 左右に打上台があれば煙が分散でき、広がった有料席を買われた方も目の前で花火が上がれば満

足感もある。ワイド感のある花火を要望。雑踏警備は警備会社任せ、家族と花火を楽しみたいと消防団員からの声があった。



諏訪湖の花火

全国新作花火 チャレンジカップ2025

問 なぜ優勝決定戦が諏訪

湖マラソンの夜なのか

答 諏訪湖温泉組合からの要望

問 分散開催での費用対効果は。

答 12月24日の実行委員会では報告される。

要望 諏訪湖面に移る光・轟く音と爆風、花火のまち諏訪市が市民の誇りであるようお願いしたい。



近藤 一美



YouTube

観光振興

問 沖縄との観光・文化交流拡大を

答 可能性を模索していく

問 経過と具体的な取組方法は。

答 「沖縄・信濃ふるさと会」林光夫会長「諏訪市豊田出身」が来訪され、花城大輔沖縄市長から、今後両市の連携と発展が進むことを願っているとのメッセージをいただいた。

諏訪市としては、今後沖縄市との交流が発展することを大いに期待する旨をしたため、メッセージをお返しさせていただいた。

問 官民一体の取組については。

答 長野県と沖縄県は「交流連携協定」が締結されており、松本空港と沖縄空港間のチャーター便も、運航されている。まずは、沖縄市とのご縁を足掛かりとし、観光協会等と連携し、観光・文化等の交流を検討していきたい。

要望 諏訪地域の、高原、雪、温泉等に沖縄の方は関心が深いとのこと

であるので積極的な交流を推進していただきたい。

すわっこランド

問 施設使用料検討委員会について

答 来年6月の市議会定例会に、改定に関する議案を上程予定

問 経過と今後について。

答 9月に第1回検討委員会を開催し、開設以来、20年にわたり、使用料を据え置いてきた。市としては、適正な受益者負担を施設利用料に反映させることで、施設と運営体制を維持していく。今後も多くの方に利用をお願いしたい。



すわっこランドをもっと活用しよう！

◎全会一致で可決等された議案等

- 議 案……第51号・諏訪市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
 第52号・諏訪市常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
 第53号・諏訪市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
 第56号・児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を定めるについて
 第57号・諏訪市公告式条例の一部改正について
 第58号・諏訪市組織条例の一部改正について
 第59号・諏訪市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について
 第60号・諏訪市職員等の旅費支給条例の一部改正について
 第61号・諏訪市手数料徴収条例の一部改正について
 第62号・諏訪市水道事業給水条例及び諏訪市温泉事業給湯条例の一部改正について
 第63号・諏訪中央病院組合規約の一部変更について
 第64号・土地の取得について
 第65号・公の施設の指定管理者の指定について
 第66号・公の施設の指定管理者の指定について
 第67号・公の施設の指定管理者の指定について
 第68号・公の施設の指定管理者の指定について
 第69号・市道路線の廃止について
 第70号・市道路線の認定について
 第71号・令和7年度一般会計補正予算(第5号)
 第72号・令和7年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 第73号・令和7年度諏訪市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

- 議員議案…第17号・諏訪市議会委員会条例の一部改正について

◎全会一致とならなかった議案等の審議結果と各議員の賛否一覧

賛成…○ 反対…×

なお、議長(牛山 正)は、採決には加わりません。

区分 番号	件 名	近藤 一美	森山 博美	藤森 靖明	藤森 綾子	岩波 万佐巳	吉澤 美樹郎	牛山 実弦	小泉 正幸	高木 智子	大津 学	横山 真	小山 博子	伊藤 浩平	井上 登	議決結果
議案 第54号	令和7年度諏訪市一般会計補正予算(第4号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可決
議案 第55号	諏訪市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を定めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可決
陳情 第31号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	趣旨採択
陳情 第32号	消費税減税とインボイス制度が廃止されるまで「2割特例」と「8割控除」の継続を求める陳情	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	不採択

※陳情については各常任委員会の審査結果に基づき採決しました

議会改革アドバイザー岩崎 弘宜氏による 議員研修会を開催しました！

令和7年11月23・24日の2日間、取手市より岩崎弘宜議会改革アドバイザーを招き、本年度第2回目となる研修会を開催しました。初日は「政策提言と委員会活動の強化」をテーマに、総務産業委員会と社会文教委員会に分かれ、グループワークを実施。総務産業委員会では「地域公共交通の活性化と持続可能な交通体系」、社会文教委員会では「諏訪市教育大綱への政策提言」について、課題整理と解決策の検討を行うとともに、今回の学びを経て、12月議会の委員会審査においては、委員間討議を初めて取り入れました。

また、2日目は「タブレット端末・生成AI・統計データの活用」をテーマに、タブレット端末使用においては、議員同士が操作方法を確認し合い、生成AIの活用では、業務効率化の可能性と注意点について助言を受けました。

2月には、議会改革推進特別委員会を取手市議会を視察します。その際、現地と諏訪市をオンラインで接続するハイブリッド型視察を予定しており、ICTを活用した新たな議会改革の可能性を試みます。今回の学びを活かし、今後も市民福祉の向上に向け議会活動の充実を図ってまいります。



当日の様子ははこちらから

議会
TOPICS ②

総務産業 委員会 行政視察

令和7年11月12日(水)～14日(金)

【岐阜県】

- 高山市
- 各務原市
- 恵那市
- 大垣市

詳しくは
こちらから→



岐阜県
高山市

駅周辺の一体整備について

高山駅周辺は、南北に走るJR高山本線により東西の往来が自由にできず、駅も東口しかありませんでした。そこで、車はアンダーパスで、人は自由通路（橋）で往来できるように整備され、あわせて東西のロータリーを整備し、交通混雑の解消が図られました。



岐阜県
恵那市

誰もが使いやすい交通ネットワーク形成プロジェクトについて

恵那市は、地域それぞれの交通事情に合わせて鉄道、バス（路線・オンデマンド）、シェアサイクル、住民による有償輸送の手段を揃えたほか、高校通学定期をひと月5,000円にしたり、高齢者や自動車運転免許返納者に1回100円で乗れる2,000円のパスポートをつくったり、電話とwebの両方で案内してくれる交通コンシェルジュを設けるなど、様々な工夫をこらしていました。



岐阜県
各務原市

DIY型空き家リノベーション事業について

各務原市は人口減少の中で移住者を増やすことと空き家対策を考え、借主が空き家を自分好みにリノベーションし、退去時も現状復帰しなくてよい制度をつくりました。メインターゲットを東海3県の20～30代に絞り、産業・行政・大学・金融の連携で包括的にサポートすることにより、地域を挙げて事業を推進する仕組みがつくられていました。



岐阜県
大垣市

かわまちづくり・ウォークブルなまちについて

大垣市は庁舎の建て替えの際、河川に隣接した立地を活かして、公園などの水辺空間を「かわまちづくり支援制度」により整備し、にぎわいを創出しています。また、コロナ禍に始めた道路占有による出店「まちなかテラス」は、コロナ禍が過ぎたあとも続いています。占有許可申請を市が一括して行うことにより事業者が参画しやすい仕組みを構築しています。



今回の視察では、まちづくりをテーマに、交通の利便性向上とにぎわいの創出について学んできました。いずれの市も職員が意欲的に取り組んでおり、諏訪市を住みたくなるまち、行ってみたくなるまちにするヒントをたくさんいただきました。総務産業委員会で協議し、さらに必要な調査をし、政策提言へとつなげていきます。

社会文教 委員会 行政視察

令和7年9月30日(火)～10月2日(木)

【兵庫県】
○小野市
○加西市
【大阪府】
○豊中市
○大阪市北区

詳しくは
こちらから



兵庫県
小野市

「夢と希望の教育」を展開する 「16か年教育」の一環としての 小中一貫教育

脳科学に基づく理論と実践を融合した独自の教育を推進していました。妊娠期(マイナス1歳)から中学校卒業までを見通した16か年一貫教育を実施。学力面では、独自の「おの検定」による基礎学力強化、ICT教育では、授業での課題解決や協働学習を中心に行っています。特別支援教育においては、ユニバーサルデザインを意識した学習環境整備やキャリア教育、体験学習では、中学2年生を対象とした「トライやるウィーク」において、商工会議所と連携していました。



大阪府
豊中市

図書館での 一時保育について

図書館による一時保育を2023年9月に開始しており、利用者数の増加はわずかですが、来館機会の創出や図書館認知の向上に寄与しています。今後は保育士チームの継続配置による安全確保と、1人550円の自己負担を維持しながら事業を継続運営し、あわせて利用者満足度や再来館率などを通じて、その効果を検証しています。



兵庫県
加西市

STEAM教育の推進について

加西市のSTEAM教育は、「挑戦(Challenge)」「協働(Collaboration)」「創造(Create)」を柱に、学びの2サイクル「探究して知る学び」と「発想し作る学び」を設定。教科横断だけでなく地域資源・人材・課題を核に展開しています。

地域連携と体験活動では、学年別に、里山体験や農業学習、ペットボトルいかだ制作、企業見学、体育と理科の協働授業を行うなど、地域資源を活用した学習も多岐にわたっています。



大阪府
大阪市
北区

こども本の森 中之島について

大阪市の「こども本の森 中之島」は、建築家・安藤忠雄氏の寄附によって建設され、大阪市内に寄贈された子ども向け文化施設で、蔵書は約2万冊を所蔵しています。特徴は、年齢区分を設けずテーマごとに本を配置し、保存よりも利用を優先しています。事業内容としては、絵本の読み聞かせや工作ワークショップ、クラシックコンサートなど幅広いプログラムを実施し、学校や幼稚園などの団体来館や職場体験も定着しています。



教育の質向上とICTの活用、図書館・文化施設を核とした子育て支援と地域連携図書館・文化空間の魅力強化と持続可能な運営について、社会文教委員会で協議し諏訪市政に反映できるよう努めてまいります。

諏訪市議会ハラスメント根絶及び防止条例(案) パブリックコメントを実施します!

市民から信頼され品格ある議会の実現を目指し、議員による全てのハラスメントの根絶と未然の防止、発生時の迅速かつ適切な対応を図るため、ハラスメント防止を掲げた基本事項を定める条例を制定します。つきましては、下記にてパブリックコメントを行いますので、条例の素案をご覧ください。ご意見をお寄せください。

意見等の募集期間 令和8年1月19日(月)～2月13日(金)

資料等の閲覧方法・提出場所 諏訪市役所1階ロビー情報コーナー・議会棟2階議会事務局・諏訪市4条例館

提出先・提出方法 住所・氏名・連絡先を必ず記入の上、以下の方法で提出してください。

- 郵 送 〒392-8511 諏訪市高島1丁目22番30号 議会事務局あて
 - ファックス 0266-53-0261 ● 電子メール suwashigikai@city.suwa.lg.jp
 - 持 参 議会棟2階議会事務局まで
- ※専用の意見用紙がございますので、ぜひご利用ください。

詳しくはこちらから→



3月定例会は2月25日(水) 招集予定です。詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定し、ホームページでお知らせする予定です。

議会を傍聴しましょう!

諏訪市議会では皆さんの傍聴をお待ちしています。本会議は当日の受付で傍聴できます。ご希望の方は、諏訪市役所議会棟2階の議会事務局窓口までお越しください。また、その際にアンケートをお配りしていますので、ご協力をお願いします。託児サービスは傍聴希望日の5日前までにお申し込みください。

請願・陳情を提出することができます!

議会に対して陳情書等を提出することができます。ご意見や要望がある方は、議会に文書でご提出ください。

- 締切りは**2月17日(火)正午**までです。提出方法など、詳しくは事前にお問い合わせください。

議会に参加しよう!



議会をテレビ・パソコンで見ましょう!

本会議の様子は、LCVの「かりんちゃんねる」(121ch)で生中継しています。また代表・一般質問の映像は定例会終了後、YouTubeにアップしています。各議員のQRコードを読み込むと、動画一覧ページに移動しますので、ぜひご覧ください。また、本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。

3月定例会日程(10:00～予定)

月日	会 議
2月25日(水)	提案説明、議案質疑、付託
3月 3日(火)	代表・一般質問
4日(水)	一般質問
5日(木)	一般質問
19日(木)	委員長報告、採決

※中継日程は変更になる場合があります。

編集委員よりひとこと

新年あけましておめでとうございます。

令和8年が皆様にとりまして、健康で幸せな年になりますことを願っております。

昨年は歴代初の女性総理が誕生した年であり、政治の世界には今までにない風が吹いたように感じます。このような時ほど市や議会の役割は重要であると思いますので、気を引き締めてまいります。

議会だよりはモニターの皆様のご協力によりつくられておりますことを改めて感謝いたします。これからもご愛読いただけますように編集委員一同尽くしてまいります。寒く乾燥する季節、皆様どうぞご自愛くださいませ。

(藤森綾子)

議会だより編集委員

委員長 横山 真
副委員長 大津 学
委員 藤森 靖
委員 藤森 綾子
委員 岩波 万佐巳
委員 牛山 実弦



諏訪市公式LINEで議会だよりを配信しています!

諏訪市公式LINEにて議会だよりを配信しています。

右記QRコードを読み込むか、

LINEアプリ内で「諏訪市」または「@suwacity」と検索してください!



友だち登録はこちらから!